

# 基本方針

## 自らデザインし続け 豊かなくらしの創出を目指す 津別の交通

本計画の策定にあたっては、持続可能な津別の交通をキーワードに、町民や町内外の関係者との意見交換を通じて得た情報やデータを客観的に捉え、法定協議会である津別町地域公共交通活性化協議会の場を通じて議論を重ねてきました。これらのプロセスを継続的に実施していくことで、津別町が自らデザインし続ける津別の交通が構築されていきます。また、本計画で位置づけた津別の交通は、時代の変化に対応して改善を繰り返し、豊かなくらしの創出を目指します。

これらの考え方から、本町における地域公共交通の基本方針を「自らデザインし続け 豊かなくらしの創出を目指す 津別の交通」とし、各種施策の展開を行っていくこととします。

### 津別町の交通課題

#### 既存公共交通の利便性の向上

公共交通のメインターゲットとなる学生や高齢者等の町民の移動ニーズや移動実態に即した公共交通の利便性向上が求められる

#### 潜在需要の掘り起こし

利用者数の増加に向けた新規利用者の掘り起こしが求められる

#### 町内交通資源の効率化

持続可能な公共交通サービスの提供に向けた町内交通資源（車両、運転手、財源等）の効率化が求められる

#### 地区の実情に応じた公共交通サービスの提供

地区の人口配置や免許返納状況等、実情に即した公共交通サービスの提供が求められる

#### 生活圏となっている町外市町への移動支援

町民ニーズに即した町外移動支援が求められる

#### 女満別空港アクセスの整備検討

オホーツク管内の玄関口である女満別空港間の移動支援策が求められる

#### 公共交通の維持・存続に向けた意識啓発

町民一人ひとりが公共交通を維持するための意識を持つことが求められる

#### 観光交通の確保検討

町内観光施設への移動支援の検討が求められる

### 課題解決に向けた施策・事業

施策① タクシー利用助成券配布事業

施策② 市街地巡回バスの運行事業

施策③ 福祉移動支援策の充実

施策④ 利用実態やニーズ等に即した運行時間帯等の見直し

施策⑤ 車両や運転手等、町内移動資源の効率的な運用

施策⑥ まちバス等で運行する車両への手すりやステップの設置等、車両の工夫

施策⑦ 利用者ニーズを踏まえた、町内交通と町外交通の接続の確保

施策⑧ 女満別空港との円滑なアクセス手段の分析

施策⑨ バス無料乗車券交付事業の継続

施策⑩ 公共交通に触れ合う機会の場の提供事業

施策⑪ 公共交通の広報・周知活動事業

施策⑫ アンケート調査の実施や意見交換会の開催

施策⑬ 観光移動に係る実態・ニーズ把握の実施

施策⑭ 津別町地域公共交通活性化協議会の機能強化  
※施策の推進体制を管理

#### 施策① タクシー利用助成券配布事業

・町民の外出における移動手段の選択肢強化に向け、本町の交通資源の1つであるタクシーを活用したタクシー利用助成券配布事業を実施します。

※利用助成券配布の対象者や金額、配布方法等の事業フレームについては、令和3年度に構築し、令和3年度からの事業展開を行うことを想定



#### 施策② 市街地巡回バスの運行事業

・本町市街地における生活利便性の向上に向け、市街地内の生活関連施設や居住地域間を巡回するバスの運行を実施します。

※令和3年度（2021年度）中に、本格運行に移行することを想定



#### 施策④ 利用実態やニーズ等に即した運行時間帯等の見直し

・町で運行しているまちバスについては、スクールバス路線としての機能を維持し、地区別の児童生徒数の変化に応じて、津別町教育委員会と連携を図り、運行地域の見直しや運行ルート等を見直しを継続的に実施します。



#### 施策⑫ アンケート調査の実施や意見交換会の開催

・公共交通に対する潜在需要の掘り起こし及び町内公共交通への評価や町民ニーズの継続的な把握に向け、住民満足度調査や町内各地区での意見交換会等を開催します。

